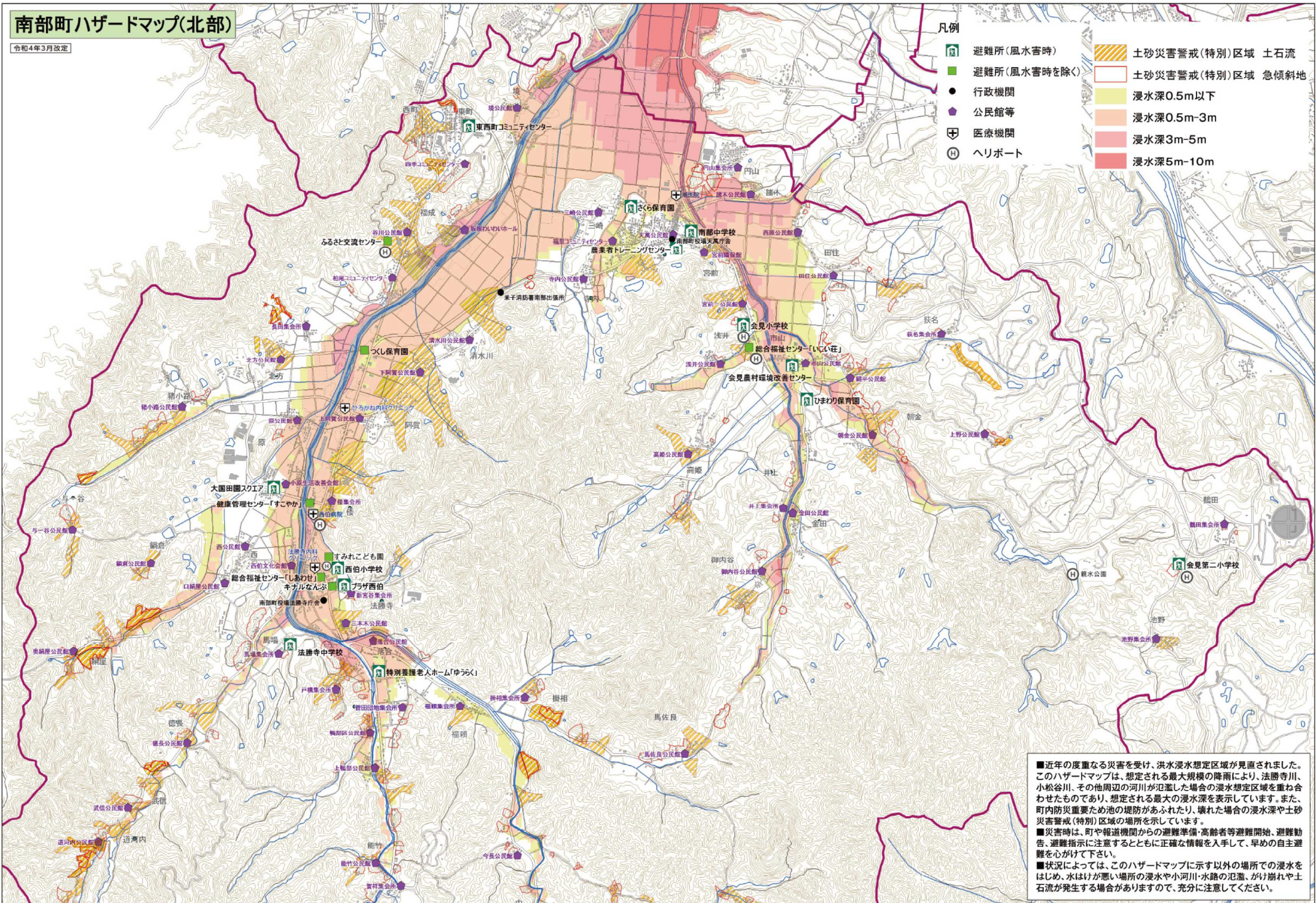


南部町ハザードマップ(北部)

令和4年3月改定

凡例

- 避難所(風水害時)
- 避難所(風水害時を除く)
- 行政機関
- 公民館等
- 医療機関
- ヘリポート
- 土砂災害警戒(特別)区域 土石流
- 土砂災害警戒(特別)区域 急傾斜地
- 浸水深0.5m以下
- 浸水深0.5m-3m
- 浸水深3m-5m
- 浸水深5m-10m



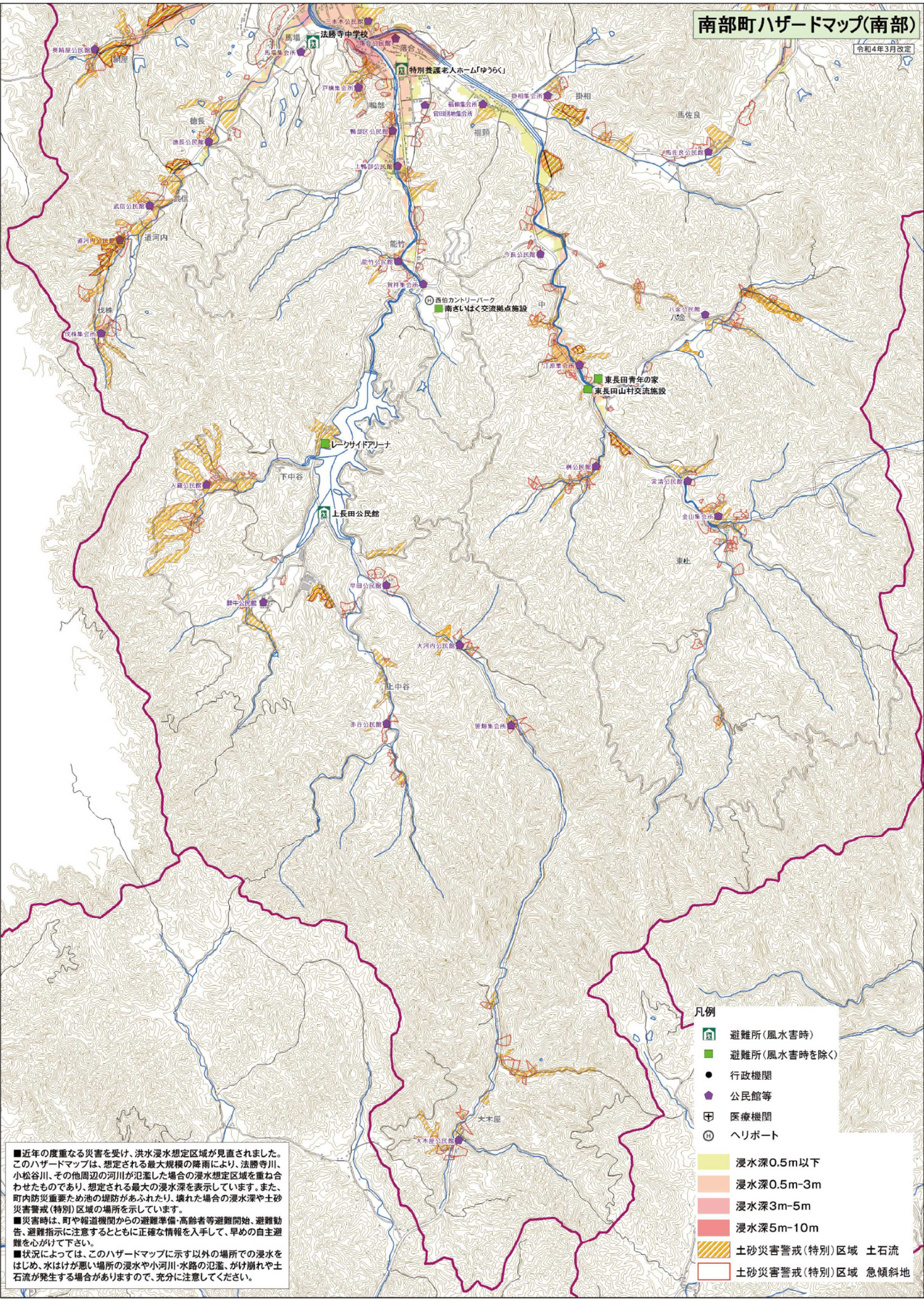
■近年の度重なる災害を受け、洪水浸水想定区域が見直されました。このハザードマップは、想定される最大規模の降雨により、法勝寺川、小松谷川、その他周辺の河川が氾濫した場合の浸水想定区域を重ね合わせたものであり、想定される最大の浸水深を表示しています。また、町内防災重要ため池の堤防があふれたり、壊れた場合の浸水深や土砂災害警戒(特別)区域の場所を示しています。

■災害時は、町や報道機関からの避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示に注意するとともに正確な情報入手して、早めの自主避難を心がけて下さい。

■状況によっては、このハザードマップに示す以外の場所での浸水をはじめ、水はけが悪い場所の浸水や小河川・水路の氾濫、がけ崩れや土石流が発生する場合がありますので、充分に注意してください。

南部町ハザードマップ(南部)

令和4年3月改定



■近年の度重なる災害を受け、洪水浸水想定区域が見直されました。このハザードマップは、想定される最大規模の降雨により、法勝寺川、小松谷川、その他周辺の河川が氾濫した場合の浸水想定区域を重ね合わせたものであり、想定される最大の浸水深を表示しています。また、町内防災重要ため池の堤防があふれたり、壊れた場合の浸水深や土砂災害警戒(特別)区域の場所を示しています。

■災害時は、町や報道機関からの避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示に注意するとともに正確な情報入手して、早めの自主避難を心がけて下さい。

■状況によっては、このハザードマップに示す以外の場所での浸水をはじめ、水はげが悪い場所の浸水や小河川・水路の氾濫、がけ崩れや土石流が発生する場合がありますので、充分に注意してください。

- 凡例
- 避難所(風水害時)
 - 避難所(風水害時を除く)
 - 行政機関
 - 公民館等
 - 医療機関
 - ヘリポート
 - 浸水深0.5m以下
 - 浸水深0.5m-3m
 - 浸水深3m-5m
 - 浸水深5m-10m
 - 土砂災害警戒(特別)区域 土石流
 - 土砂災害警戒(特別)区域 急傾斜地

1:15,000 0 0.5 1 2 km

南部町防災マップ

南部町では、大雨等により災害発生の危険が高まった場合あるいは災害が発生した場合に、町民の皆さんがすばやく安全な場所に避難し、被害を最小限に抑えることを目的として「南部町防災マップ」を作成しました。浸水想定区域、土砂災害警戒区域、避難所など、このハザードマップを用いて確認してください。

お問い合わせ先：南部町役場 総務課 TEL：0859-66-3112 / FAX：0859-66-4806
〒683-0351 鳥取県西伯郡南部町法勝寺377番地1 URL：https://www.town.nanbu.tottori.jp/

土砂災害の種類と前兆

土石流	がけ崩れ	地すべり
<p>谷に溜まった土石や、斜面が崩れ、大雨による水と一緒に一気に流れ出して起こります。破壊力が大きく、流れる速度も速いため大きな被害をもたらします。</p> <p>土石流の前兆</p> <ul style="list-style-type: none"> 山鳴りや立木の割ける音、石のぶつかり合う音が聞かれる。 雨が降り続けているのに川の水位が下がる。 川の水が急に濁ったり、流木が漂り始める。 	<p>地面にしみ込んだ雨が土の抵抗力を弱め、弱くなった斜面が突然崩れ落ちます。突発的に起こり、瞬時に崩れ落ちるので逃げ遅れる人も多く被害が大きくなります。</p> <p>がけ崩れの前兆</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇がけからでてる水が濁る。 〇がけに亀裂が入る。 〇小石がバラバラ落ちてくる。 	<p>比較的緩やかな斜面において、粘土層などが地下水の影響で、ゆっくり動き出す現象です。一度に広範囲で発生するため、住宅や道路などに大きな被害をおよぼします。</p> <p>地すべり前兆</p> <ul style="list-style-type: none"> 〇地面にひび割れができる。 〇沢や井戸の水が濁る。 〇斜面から水が湧き出す。

避難情報について

避難情報等	発令時の状況	皆さんの行動
高齢者等避難(警戒レベルⅢ)	<ul style="list-style-type: none"> 〇高齢者や支援が必要な方、特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない段階。 〇人的被害の発生する可能性が高まった状況 	<ul style="list-style-type: none"> 〇高齢者や支援が必要な方、特に避難完了に時間を要する方(在宅又は施設利用者)は、避難所等への避難行動を開始(避難支援者は支援行動を開始)してください。 〇上記以外の方は、家族との連絡、非常用持出品の用意など、避難の準備を開始してください。
避難指示(警戒レベルⅣ) 全員避難	<ul style="list-style-type: none"> 〇通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階。 〇人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 	<ul style="list-style-type: none"> 〇通常の避難行動ができる方は、危険な場所から避難所等への避難行動を開始してください。 〇避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難してください。
<警戒レベルⅣまでには必ず避難!>		
緊急安全確保(警戒レベルⅤ)	<ul style="list-style-type: none"> 〇災害が発生または差し迫っている状況 	<ul style="list-style-type: none"> 〇命を守るための最善の行動をとってください。

令和3年5月に避難情報の改定が行われました。避難情報の再度の確認をお願いします。

※土砂災害警戒情報とは、大雨警報を発表している中で大雨によって土砂災害の発生のおそれが高まったときに、市町村が行う避難指示等を発令する際の判断や町民の皆さんの自主避難の参考となるよう、県と鳥取県地方気象台が発表する防災情報です。

※避難情報の発令にあたっては、上記の判断基準及び各種気象情報を含め、総合的に判断します。

※土砂災害警戒情報が発表されていない場合でも、降雨の状況や周辺の状況を確認し、土砂災害発生の危険性を感じた場合には、速やかに自主的に避難してください。

避難先の確認

①安全な避難路の確認を	②非常持ち出し品の事前準備を	③正確な情報収集を	④避難の呼びかけに注意を

⑤お年寄りなどの避難に協力を	⑥動きやすい格好、2人以上での避難を	⑦車での避難は緊急車両の通行を妨げない	⑧堤防や狭い道に車を放置しない

気象情報等の入手先 (このほかにもテレビやラジオを視聴してください)

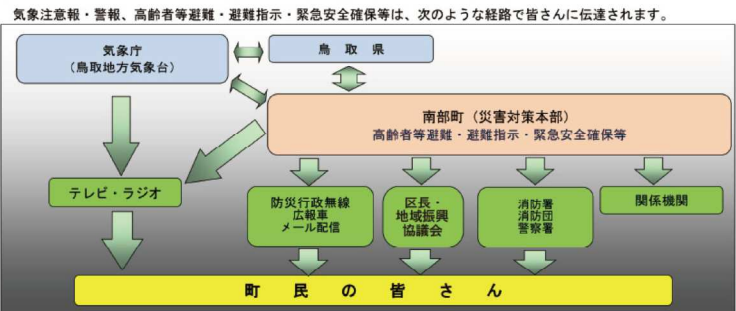
- 鳥取県防災情報(土砂災害警戒情報、河川情報、気象情報など)
http://tottori.bosai.info/
- 鳥取地方気象台(気象情報)
https://www.jma-net.go.jp/tottori/ (固定電話) 177
- 国土交通省 川の防災情報
https://www.river.go.jp/
- YAHOO! 防災速報(緊急情報通知)
スマートフォンなどでアプリをダウンロードして「南部町」を地域登録 「Yahoo!防災速報」で検索
- My Poteka(南部町の気象状況確認) 天津、大園、賀野
スマートフォンなどでアプリをダウンロードして情報確認 「MyPOTEKA」で検索

●NTT 災害用伝言ダイヤル(自宅以外の電話や携帯電話からも使えます。)

- ①伝言を録音する場合 171+1+ (****)-****-**** (ご自分の電話番号)
- ②伝言を再生する場合 171+2+ (****)-****-**** (安否等を確認したい相手の電話番号)

●NTT web171(災害用伝言板)
パソコンから https://www.web171.jp/ (利用方法はホームページをご覧ください。)

避難情報伝達の流れ



水位の種類

はん濫危険水位(危険水位)

水位の名称	危険度レベル	洪水予報	町民に求められる行動
氾濫の発生			
氾濫危険水位	レベル4	氾濫発生情報	はん濫している地域では、新たな避難行動はとらない
避難判断水位	レベル3	氾濫危険情報	避難完了
出動水位	レベル2	氾濫警戒情報	避難の判断、避難開始
氾濫注意水位	レベル1	氾濫注意情報	避難の準備、要支援者支援の開始 要支援者は避難開始
水防団待機水位			雨量、水位情報、気象情報 などに注意
通常水位			

防災気象情報に基づく対応

雨の状況	発表される情報	情報に対する対応
やや強い雨 ※地面で雨が跳ねる	大雨注意報 大雨による災害に注意を!	気象情報・防災情報の収集と土砂災害の前兆への注意。避難困難者は早めの行動を
猛烈な雨、長雨	大雨警報 重大な災害に警戒を!	自治体が発表する避難情報に注意し、必要に応じ速やかに避難
	土砂災害警戒情報 大雨による土砂災害の恐れが高まっているので、一層の警戒を!	安全な場所への避難
さらに激しい大雨が続くと...	特別警報 重大な災害が起こる可能性が非常に高まっているので、ただちに身を守るために最善を!	ただちに命を守る行動をとる ⇒市町村からの避難指示等に従い、ただちに避難所又は安全な場所に避難。 ⇒外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所へ移動。

浸水深(浸水の深さ)の目安

5.0m: 2階の軒下以上が浸水する程

3.0m: 2階の軒下まで浸水する程度

1階の軒下まで浸水する程度

0.5m: 大人のひざまでつかる程度

※この図は、浸水深の深さの目安を表したものです。

雨量の目安

やや強い雨 1時間雨量10~20mm ザーザーと降り、雨の音で話し声が良く聞き取れない。この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	雨の降り方から被害の予想ができます。雨の降り方に注意して、危険と判断した場合は、警報や避難勧告が出る前でも、早めの避難準備や避難を心がけましょう!
強い雨 1時間雨量20~30mm どしゃ降り、傘をささしても見えない。ワイパーを速くしても見づらい。側溝等があふれる。	
激しい雨 1時間雨量30~50mm バケツをひっくり返したように降り、道路が川のような。危険地域では避難の準備が必要。	
猛烈な雨 1時間雨量80mm以上 息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。大雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、重大な警戒が必要。	

特別警報発表基準(一覧)

現象の種類	基準
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	数十年に一度の強度の台風や同程度の低気圧により、高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の低気圧により雪や伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合